

ペットボトル稲 植え付け（田植え）までの準備マニュアル

福岡教育大学 平尾健二

1. ペットボトルの加工

横に寝かせ、広い面の底から半分の部分を切り取る。（黒く縁取った部分です。）

広く切り取りすぎると、強度が保てません。
注意してください。



2. ラベルを貼って、名前を書く

ラベルには、ビニルテープを使うと良いです。

（幅の広いテープであると、名前を大きく書けます。）

名前を書く際は、必ず、黒い油性ペンで。

（他の色は紫外線に当たると、すぐに退色してしまうので、注意）



3. 肥料（緩効性肥料）をキャップ山盛り2杯（20g程度）入れる。

土を入れる前に入れてください。

肥料：スーパーエコロング 413

100日タイプ（ジェイカム・アグリ社（JA））
がおすすめです。追肥の必要がありません。



4. 土を入れる。

容器の9割以上、入れてください。横から見て、図のレベル以上入れてください。まで。（水を入れて、かき混ぜると嵩が減ります。少な過ぎると成長に影響します。）



5. バットに並べる.

緑色のバット（プラ舟 80L）であれば、写真のように10本互い違いにきれいに並べることができます。

この並べ方は、水田の栽植密度に近いので、生育も良好になります。

（バットの規格，メーカーによっては，難しい場合もあります。）



6. 水を張っておく.

確実にペットボトルの中に水を入れてください。雨が降る場合は，そのまま置いておけば，自然に水がたまり，中にしみ込むので，水を入れる必要がありません。

その他の注意事項

*土の量が少ない場合が多く見受けられますので，水を入れてかさが減るのを想定して，多めに入れてください。

*予め，バットの配置を決めておくのも良いと思います。例えば，バットのふちに名前を書いた（書かせた）ビニルテープを貼っておく（クラスごとに色を変える）のも良いです。自分の場所が把握できていれば，植え付け終わって，子どもたちがペットボトルの並べるのもスムーズです。